

西暦 2023 年 / 月 27 日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	漏斗胸における Nuss 法前後の体格変化の検討
研究代表者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 松浦玲 小児外科
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	2002 年～2020 年に漏斗胸に対する初回手術として Nuss 法を施行され、手術時の年齢が 5 歳以上 15 歳未満の方
研究期間	研究実施許可後～2024 年 3 月
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	<p>漏斗胸に対する手術(Nuss 法)は、胸部の凹みが改善し整容面において良好な成績が報告されています。しかし身体機能面については、呼吸機能が改善し肺容量が増大するという研究結果もありますが、まだはっきりとした改善結果は出ていません。特に小児では呼吸機能検査が難しく、放射線被曝をさけるため CT 検査を極力少なくしてるため肺容量を計測できません。そのため、Nuss 法によって身体機能が改善することを示すにはより簡単な検査法が求められます。計測の容易な身長と体重から肥満度という年齢や性別ごとの標準体重から計算される指標を用いて、手術前とバ一抜去時の体格の変化を調べます。また体格変化があった場合、どのような方で体格に変化が生じやすいのか、術前の陥凹度 (CT, レントゲン検査より計測する) との関係性を調べます。</p> <p>これによって Nuss 法によって胸部の凹みが改善するという整容面の変化だけでなく、身体機能の改善の可能性のあることを手術の説明時に伝えられる様になります。本研究はセンターで保存する試料・情報等を利用して行い、将来、漏斗胸の新たな研究を行う場合、改めて倫理審査申請を行います。</p>
研究に用いられる試料・情報の項目や種類	手術時の年齢、性別、手術の合併症、既往歴、身長体重、CT・レントゲンの計測結果

<p>研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法</p>	<p>本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の間合せ先までご連絡ください。</p>
<p>個人情報の開示に係る手続き</p>	<p>本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の間い合わせ先までご連絡下さい。</p>
<p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先</p>	<p>地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 小児外科 松浦玲 電話 0725-56-1220 (代表)</p>